

東北大学合格法 ～傾向と対策(概)

- ◎ まず、東北大学の入試のポイントについて説明します。
東北大学の一般選抜は、各国立大学と同様に5～6教科・7科目の大学入学共通テスト＋個別学力試験(2次試験)で合否が決定されます。個別学力試験は、前期入試と後期入試の両方を実施しています。前期日程では、全学部3教科での試験となっていますが、後期試験では、学部によって必要な教科数が異なります。その上で、以下科目別の傾向について記します。

〔 英語 〕

試験時間は100分で、大問が4題出題されます。前半2問は、それぞれ800～1000語程度の長文読解です。3問目は、会話文を読んで設問に答える形式です。

4問目は、和文英訳が2問出題されます。長文読解に加えて会話文、会話文や内容真偽の英語を読む必要があるため、長い英文に慣れておくことは必須です。

〔 国語 〕

試験時間105分に対し、大問3題、評論1題、古文1題、漢文1題です。

設問は、段落並びに全体の内容把握が多く、概観する力と詳細に読み込む力のどちらも要求されます。

古文では、和歌を含んだ文が多く出題されます。

漢文でも、基礎知識が多く求められ、日頃から興味を持って様々な著作に触れておく必要があります。

〔 数学 〕

150分で大問6題が出題されます。解答は全て過程を含めた記述式です。出題分野としては、微分積分と確率が毎年出題されている他、整数、図形と方程式、数列、複素数平面などが頻出となっています。

全問が記述式であるため、論理的に答案を作成する力を日頃から養っていく必要があります。

- ◎ 東北大学では、合格最低点は公開されていません。ただ、情報では、どの学部も総合点の60～70%位が合格者平均点となっています。

その上で、共通テストで80%、個別学力試験で50～60%位の得点で合格している受験生が多いようです。



- ◎ その上で、文系学部は、英語・数学・国語、理系学部は、英語・数学・理科(2科目)の配点比率が高くなっているため、早いうちから上記科目の対策を行っていく必要があります。

一橋では、一人一人の志望大学・学部に合わせて、最適な指導を行っています。

